

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	本当においしい木島平食材をもっと「知りたい・PRしたい」プロジェクト
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 木島平村観光振興局 0269-82-2800
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 (イ農業振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	738,541円 (うち支援金: 588,000円)

事業内容

木島平村を代表する米・農産物の認知度向上及び稲作文化を体験してもらうこと、生産者の生産意欲向上を目的とし、以下の事業を実施した。

- ・各店舗へ「木島平食材の取扱店」である旨わかるプレートを設置した。
- ・米づくりに関わる体験及び講座を設け、稲作文化に触れてもらった。



【稲作文化体験事業 稲刈り】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・木島平食材を取扱っている旨のプレートを作成し、設置することで木島平産農産物の可視化を行えた。また、可視化することで生産者の取り組み意識向上を促すことができたと考える。
- ・稲作文化体験を通して、木島平村に訪れる機会を設け、都会では味わえない非日常的な体験及び米づくりに触れる機会となったことで、木島平村のファンになっていただけと考える。

【目標・ねらい】

- ①プレート掲示による木島平産農産物の可視化
- ②生産者の取り組み意識の向上
- ③稲作文化体験を行った参加者より個の情報発信を増やす

※自己評価 【 B 】

【理由】

年間を通し、米に触れる体験や農産物を PR するような活動を行うことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・木島平食材を取扱っている店舗を引き続き調査し、さらなる登録店舗の拡大に努める。
- ・登録店舗を対象とした料理教室を開催することで、木島平食材の魅力をさらに知っていただく機会を設ける。
- ・登録店舗及び村内の農家の方たちに集ってもらい意見交換を行う場を設けることで、関係者の交流関係を深めるとともに、一体となって木島平食材を PR できるような体制を整えることとする。
- ・稲作体験だけでなく、収穫祭のような自分で作った食材を木島平で食べていただくような体験も検討する

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある